



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

東

上場会社名 コンバム株式会社

上場取引所

コード番号 6265

URL <https://www.convum.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 佐藤 穰

問合せ先責任者（役職名） 専務取締役

（氏名） 國松 孝行

（TEL）03-3759-1491

半期報告書提出予定日 2026年8月12日

配当支払開始予定日

2026年9月7日

決算補足説明資料作成の有無

： 無

決算説明会開催の有無

： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,257	28.3	276	67.0	286	66.1	187	53.6
2025年12月期中間期	980	7.8	165	7.6	172	0.9	122	2.9

（注）包括利益 2026年12月期中間期 159百万円（128.3%） 2025年12月期中間期 69百万円（△64.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	122.99	—
2025年12月期中間期	78.90	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	6,684	6,219	92.5
2025年12月期	6,404	6,040	93.6

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 6,180百万円 2025年12月期 5,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年12月期	—	40.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 有

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,326	17.4	377	28.0	410	25.2	284	14.5	185.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 0社 (社名) — 、除外 0社 (社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	1,657,000株	2025年12月期	1,657,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	114,991株	2025年12月期	136,391株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	1,525,205株	2025年12月期中間期	1,547,428株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、生成AI、DXおよび半導体関連分野を中心とした旺盛な設備投資需要や、賃上げの広がりによる所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東地域を巡る地政学的リスクの継続に伴うエネルギー価格の変動や、米国を中心とした通商政策の動向、為替相場の変動等が企業活動に影響を与え、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、電子部品・半導体製造装置関連において、AI関連投資および半導体設備投資の拡大を背景に受注が増加し、売上高は好調に推移いたしました。また、ロボット関連、食品機械業界及び各種自動機関連においては、原材料や部材価格の高騰の影響が継続しておりますが、省人化・自動化ニーズを背景に受注は概ね堅調に推移いたしました。

開発面においては、労働人口減少に伴う協働ロボット需要を見据えた吸着ハンド並びに電動化の推進と新素材及び新形状の吸着パッドの開発を進め、市場投入を行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、連結売上高は1,257,996千円（前年同期比128.3%）、連結経常利益は286,982千円（前年同期比166.1%）、親会社株主に帰属する中間純利益は187,590千円（前年同期比153.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

半導体メーカー各社の設備投資需要の高まりを受け、真空機器および吸着パッドの受注が大幅に増加いたしました。また、生産設備の省人化・自動化投資が引き続き活発に推移したことから、ロボットハンド関連製品の引き合いも高水準で推移し、受注は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は965,724千円（前年同期比118.2%）となりました。営業利益については245,356千円（前年同期比158.6%）となりました。

（韓国）

半導体需要の増加により設備投資需要が回復基調で推移し、真空機器および独自製品の受注が増加いたしました。また、新製品の開発および新規顧客の開拓を積極的に推進した結果、受注は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は328,624千円（前年同期比163.4%）となりました。営業利益については35,433千円（前年同期比414.7%）となりました。

（その他）

タイでは、タイおよび周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、現地Sierと共に省力化に向けた設備へのロボットハンドの製品投入を行いました。

この結果、売上高は21,107千円（前年同期比70.4%）となりました。営業損失については4,469千円（前年同期の営業利益は2,257千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①財政状態の分析

（資産）

当中間連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ310,499千円増加し、4,178,014千円となりました。これは主として、電子記録債権が182,713千円減少したのに対し、現金及び預金が370,923千円、売掛金が72,452千円、製品が16,645千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ30,557千円減少し、2,506,446千円となりました。これは主として、投資その他の資産が36,931千円増加したのに対し、有形固定資産が55,527千円、無形固定資産が11,961千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ279,941千円増加し、6,684,461千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ81,608千円増加し、301,600千円となりました。これは主として、その他が13,863千円減少したのに対し、未払法人税等が67,739千円、支払手形及び買掛金が30,363千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ20,048千円増加し、163,764千円となりました。これは主として、繰延税金負債が14,104千円、退職給付に係る負債が5,990千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ101,657千円増加し、465,364千円となりました。
(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ178,284千円増加し、6,219,096千円となりました。これは主として、利益剰余金が149,575千円、自己株式の処分により30,177千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は92.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ377,325千円増加し、2,631,261千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益288,424千円に加え、減価償却費82,020千円、売上債権の減少額98,943千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額24,796千円等の減少要因により439,135千円の資金収入(前年同期は261,226千円の資金収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出20,952千円等の減少要因により19,988千円の資金支出(前年同期は58,795千円の資金支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額38,058千円の減少要因により38,058千円の資金支出(前年同期は113,000千円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました予想から変更しております。詳細につきましては、本日付「第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績数値との差異および通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,006,181	3,377,105
受取手形	4,809	13,664
電子記録債権	249,794	67,081
売掛金	223,448	295,900
製品	145,314	161,960
仕掛品	121,575	117,616
原材料	91,746	105,532
その他	24,974	39,816
貸倒引当金	△330	△663
流動資産合計	3,867,515	4,178,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,752,715	1,751,764
減価償却累計額	△1,000,244	△1,023,877
建物及び構築物(純額)	752,471	727,886
機械装置及び運搬具	1,192,941	1,179,210
減価償却累計額	△865,991	△880,636
機械装置及び運搬具(純額)	326,950	298,574
土地	703,742	703,138
その他	788,804	785,268
減価償却累計額	△748,903	△747,329
その他(純額)	39,900	37,939
有形固定資産合計	1,823,065	1,767,538
無形固定資産	54,858	42,896
投資その他の資産		
投資有価証券	538,229	542,175
繰延税金資産	2,862	3,382
その他	117,987	150,453
投資その他の資産合計	659,080	696,011
固定資産合計	2,537,004	2,506,446
資産合計	6,404,519	6,684,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,304	64,667
未払法人税等	32,629	100,369
賞与引当金	25,074	26,639
役員賞与引当金	6,120	1,925
その他	121,863	107,999
流動負債合計	219,992	301,600
固定負債		
退職給付に係る負債	85,606	91,597
繰延税金負債	56,814	70,918
その他	1,294	1,248
固定負債合計	143,715	163,764
負債合計	363,707	465,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,040,027
利益剰余金	4,172,412	4,321,987
自己株式	△192,334	△162,157
株主資本合計	5,741,163	5,947,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,325	187,445
為替換算調整勘定	64,163	44,711
その他の包括利益累計額合計	255,489	232,157
非支配株主持分	44,159	38,955
純資産合計	6,040,811	6,219,096
負債純資産合計	6,404,519	6,684,461

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	980,395	1,257,996
売上原価	470,021	618,735
売上総利益	510,373	639,261
販売費及び一般管理費	344,909	362,940
営業利益	165,464	276,321
営業外収益		
受取利息	1,283	2,937
受取配当金	7,373	6,744
受取地代家賃	5,565	5,903
為替差益	-	1,241
その他	1,907	1,405
営業外収益合計	16,129	18,233
営業外費用		
売上割引	139	108
減価償却費	3,784	3,655
その他	4,861	3,807
営業外費用合計	8,786	7,571
経常利益	172,806	286,982
特別利益		
固定資産売却益	6,587	1,442
特別利益合計	6,587	1,442
特別損失		
固定資産除却損	17	0
その他	1,965	-
特別損失合計	1,982	0
税金等調整前中間純利益	177,411	288,424
法人税、住民税及び事業税	54,374	93,516
法人税等調整額	527	11,748
法人税等合計	54,902	105,265
中間純利益	122,509	183,159
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	410	△4,431
親会社株主に帰属する中間純利益	122,098	187,590

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	122,509	183,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,477	△3,879
為替換算調整勘定	△9,375	△20,224
その他の包括利益合計	△52,853	△24,104
中間包括利益	69,655	159,054
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	69,245	163,485
非支配株主に係る中間包括利益	410	△4,431

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	177,411	288,424
減価償却費	94,999	82,020
有形固定資産除却損	17	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,587	△1,442
株式報酬費用	-	1,448
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	353
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,872	1,607
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,960	△4,195
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,035	6,008
受取利息及び受取配当金	△8,656	△9,681
売上債権の増減額(△は増加)	9,256	98,943
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,988	31,264
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,801	△30,994
その他	43,188	△9,507
小計	300,776	454,250
利息及び配当金の受取額	8,656	9,681
法人税等の還付額	13,152	-
法人税等の支払額	△61,359	△24,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,226	439,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,148	△930
定期預金の払戻による収入	-	930
投資有価証券の取得による支出	△6,824	△6,227
有形固定資産の取得による支出	△48,202	△20,952
有形固定資産の売却による収入	6,587	8,564
無形固定資産の取得による支出	△2,206	△1,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,795	△19,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△72,446	-
配当金の支払額	△40,553	△38,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,000	△38,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,786	△3,764
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,644	377,325
現金及び現金同等物の期首残高	2,659,706	2,253,936
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,744,351	2,631,261

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式21,400株の処分を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が30,177千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が162,157千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	韓国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	778,413	171,996	950,409	29,985	980,395
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	778,413	171,996	950,409	29,985	980,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,902	29,137	68,039	—	68,039
計	817,315	201,134	1,018,449	29,985	1,048,435
セグメント利益	154,662	8,543	163,206	2,257	165,464

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、主に「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,206
「その他」の区分の利益	2,257
セグメント間取引消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	165,464

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	韓国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	943,117	293,771	1,236,889	21,107	1,257,996
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	943,117	293,771	1,236,889	21,107	1,257,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,606	34,852	57,459	—	57,459
計	965,724	328,624	1,294,348	21,107	1,315,455
セグメント利益又は損失(△)	245,356	35,433	280,790	△4,469	276,321

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、主に「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	280,790
「その他」の区分の損失(△)	△4,469
セグメント間取引消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	276,321